

開催概要

開催：2024年10月12日（土）

9:30~17:30

会場：北海道大学 歯学部講堂

■ ご挨拶

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

第2回 OralStudio Meeting【多様化する歯科医療の芯を学ぶ】は、2024年10月12日 北海道大学歯学部講堂にて、以下のタイムテーブルで開催します。

時間	SS	演者	所属	タイトル
9:30				開場
10:00~10:40	1	松田 康裕 先生	北海道医療大学歯学部口腔制御治療学分野 准教授	象牙質の非古典的石灰化メカニズムと再石灰化の新展開
10:50~11:30	1	広田 一男 先生	株式会社ヘルスケアー口腔器材研究所	グラスアイオノマーセメント(GIC)の特徴と可能性
11:35~11:50 軽食をご用意 ください	-	松下 竜弥 様	パナソニック株式会社	ドルツシリーズのご紹介
12:00~12:40	2	島田 淳 先生	医療法人社団グリーンデンタルクリニック理事長	口腔機能障害を成人の顎関節症、ブラキシズムから読み解く
12:50~13:30	2	野原 幹司 先生	大阪大学大学院歯学研究科顎口腔機能治療学教室 准教授	医療としての歯科を再考する～食医のススメ
13:40~14:20	3	友清 淳 先生	北海道大学大学院歯学研究院口腔健康科学分野歯科保存学教室 教授	基本の確認から根管治療の現在と未来を考える
14:30~15:10	3	宮治 裕史 先生	北海道大学大学院歯学研究院口腔総合治療学教室 教授/ 副研究院長	菌と歯面のコントロールによる歯科治療アップデート
15:20~16:00	4	相田 潤 先生	東京科学大学 大学院医歯学総合研究科 歯科公衆衛生学分野 教授	行動変容は可能か？：最近の理論やデータに基づいて考える
16:10~16:50	4	関 千俊 先生	医療法人社団関輝会 関歯科医院	日常臨床でデジタル機器を使い倒して感じる満足と不満
17:00~17:30				ディスカッション・閉会
				移動
19:00~21:00				懇親会@ANAクラウンプラザホテル札幌

OralStudio Meeting 2024

アブストラクト



松田 康裕 先生

象牙質の非古典的石灰化メカニズムと再石灰化の新展開

象牙質および根面う蝕の再石灰化において、非古典的石灰化メカニズムとコラーゲンなどの生体高分子の役割が注目されています。新しい石灰化について最新のエビデンスを基に解説し、将来的な臨床応用を探ります。



広田 一男 先生

グラスアイオノマーセメント(GIC)の特徴と可能性

フルオロアルミノシリケートガラスとポリアクリル酸を主成分とするGICはフッ素徐放性、有髄歯象牙質への接着、生体親和性などの特徴を生かして多くの臨床対象に使われている。GICの特徴と可能性をまとめてみたい。



島田 淳 先生

口腔機能障害を成人の顎関節症、ブラキシズムから読み解く

小児、高齢期の口腔機能障害を理解する鍵は成人期の口腔機能にある。現在、問題となっている口腔機能障害の考え方、対応法そして管理について、成人期の顎関節症とブラキシズムから解説する。



野原 幹司 先生

医療としての歯科を再考する～食医のススメ

歯科の役割の一つは「歯科医療の発展」であることに異論はない。しかし「医療への貢献」ももう一つの重要な役割である。本セミナーでは嚥下専門医の視点から、医療の中で歯科がやるべき・できることを考えてみたい。



友清 淳 先生

基本の確認から根管治療の現在と未来を考える

根管治療において、方法論に焦点を当てた講演は多くありますが、基本に焦点を当てたものはさほど多くありません。本講演では、基本の確認から現在の根管治療における利点・欠点を考察した上で、根管治療の未来を示唆させていただきます。



宮治 裕史 先生

歯と歯面のコントロールによる歯科治療アップデート

プラークコントロールはハブラシによる機械的清掃が一般的であるが、新しい化学的清掃法の開発も進められている。今回は、プラークの質について再考するとともに、歯面に抗菌性能を付与する化学的プラークコントロールの新概念をご紹介します。



相田 潤 先生

行動変容は可能か？：最近の理論やデータに基づいて考える

「知識を与えれば、行動が変わる」という前提は正しいのか？近年の科学は、人はそれほど合理的ではないことを示しています。この講演では、定期受診などのデータを示しつつ行動変容を考えなおしてみます。



関 千俊 先生

日常臨床でデジタル機器を使い倒して感じる満足と不満

近年、IOS・CAD/CAM・レントゲン・レセコンなど、歯科臨床においても「デジタル活用」が当たり前になってきたが、これらは主役ではなくあくまでツールである。時間的制約もあるので一部になりますが、今までの私の経験を皆様にシェアし、今後の歯科診療の在り方について共に議論できればと感じている。

■ 会場 アクセス：北海道大学 歯学部講堂

JR利用 (紺色 矢印)

JR札幌駅下車、札幌駅北口より徒歩15分

地下鉄利用 (赤色 矢印)

地下鉄南北線にて北12条駅下車、徒歩6分

北12条下車が最も一般的

- 地下鉄南北線 北12条駅下車
- 2番出口より地上へ移動
- 出口方向と逆方向（北側）へ向かう
- 2本目を左折すると正面に北13条門が見える
- 直進（北大の中へ）3分程度で右手に歯学部

広域地図



拡大地図



学部玄関の守衛さんに会の参加をお伝えください。
講堂は歯学部2階です。

■ 懇親会場 アクセス：ANAクラウンプラザホテル札幌

札幌市中央区北3条西1丁目2-9

▶ 札幌市営地下鉄 21番出口を出て 直進100m

▶ 地下1階あさひを予定

